

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第5回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

- ・高志児童館の廃止について

(2) 自主的な審議（公開）

- ・自主的審議事項について

3 開催日時

令和7年9月10日（水）午後6時30分から午後7時35分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第一会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：池亀委員、市川委員、太田副会長、折橋委員、崎田委員、瀧本委員、
田中会長、田邊委員、本多委員、山谷委員、吉田(実)委員、吉田(義)委員、
渡部委員（欠席6名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【田中会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【田中会長】

- ・会議録の確認：本多委員に依頼

次第 3 議題「(1) 報告事項」の「高志児童館の廃止について」に入る。

前回、市から地域協議会へ「高志児童館の廃止について」の諮問が行われ、答申した結果について、事務局から報告がある。

【渡邊係長】

前回地域協議会へ諮問があり、「支障なし」「附帯意見なし」として答申した。

担当課から資料No.1 のとおり、春日区地域協議会長宛に、諮問のとおり高志児童館を廃止することとし、令和 7 年上越市議会 9 月定例会に廃止の旨の条例案を提出するとの通知があったことを報告する。

なお、会長、事務局預かりとした附帯意見についての対応は、7 月 28 日付け通知で委員へ報告したとおり、次のとおりとした。

- ・今回の諮問内容は、休止中の高志児童館を廃止するものであり、当該施設で行われている事業の移転先の受入れ態勢に関する意見は答申の附帯意見に含めない。
- ・必要に応じて、移転先における放課後児童クラブについて、市担当課へ報告を求める。

【田中会長】

「諮問のとおり廃止の手続きを進める」という報告であった。

以上で次第 3 議題「(1) 報告事項」の「高志児童館の廃止について」を終了する。

次に、次第 3 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。

前回に引き続き、2 つのサブテーマについて、具体的な解決策について話し合う。テーマごとにグループを分けず、メンバーを入替えながら協議する。

協議の仕方について、事務局から説明する。

【渡邊係長】

①「子どもたちが愛着を持てる春日」、②「誰もが誰かとつながっている春日」の 2 つのテーマに沿って、具体的な解決策について話し合う。

グループの進行等は事務局が担うので、全委員が自由に話し合ってもらいたい。

(グループ協議：別紙記録)

【田中会長】

以上で次第3 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：10月8日（水）午後6時30分から
上越市市民プラザ 第一会議室（予定）

【田中会長】

ただ今の説明について、意見を求める。

（発言無し）

意見が無いようなので、以上で次第4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4 その他の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

（無しの声）

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。

「子どもたちが愛着を持てる春日」、「誰もが誰かとつながっている春日」に関する具体的な解決案
(令和7年9月10日第5回春日区地域協議会記録)

	A グループ	B グループ	C グループ
1 回目	②誰もが誰かとつながっている春日	①子どもたちが愛着を持てる春日	①子どもたちが愛着を持てる春日
	委員：市川、田中、吉田(実) 事務局：村山	委員：折橋、渡部 事務局：鈴木	委員：池亀、太田、崎田、瀧本、田邊、本多、山谷、吉田(義) 事務局：渡邊
	■健康づくりポイント、ウォーキングポイント事業を実施する ・ウォーキングで体を動かし、仲間づくり、挨拶を交わすことができる。 ・歩いてためたポイントを市の施設等で割引等を受けられるようにする。 ・事業の実施には準備が必要になる。(コース作り、時間帯の設定(朝・夕)、春日区らしいコース設定など) ■町内会同士の交流、町内会内での交流を促進する ・きっかけづくりが必要。 ■謙信公祭の民謡流しに中学生が参加した。継続できたら… ・今後も積極的に参加してもらうには親の協力が必要。 現在の春日区は… ・高校生になるとお祭りに出てこない。 ・町内会内でも古い人と新しい人の交流がない。 ・家にこもっている人は外に出てこない。	■人のつながりを作る ・地域での活動や行事に子どもの頃から参加する。 ・子どもが参加すれば親も参加する。 ・強制参加でも、参加したという思い出は残る。 ・大会や発表会に向けた、日頃の練習を通じて大人から子供まで関わる機会を創出できる。 ・春日区って楽しいという気持ちが愛着につながる。 ・土地への愛着というより、地元の人とのつながりがそこにあるという気持ちを創出する。 ■春日区の歴史を子どもたちに学ばせる ・歴史を学ぶことで、子どもたちに地域への愛着を醸成できる。 現在の春日区は… ・歴史的な建造物はないが、ソフト事業(謙信公などの歴史)はある。	■地域への恩返し ・地域みんなで育ててくれたと感じる ■隣近所みんなでご飯を食べる ・昔は近所のお宅でご飯を御馳走になることもあった ■お祭り ・地域の祭りの日は休校！ 現在の春日区は… ・イベントの声掛けをするので精一杯 ・町内の事業よりも、他の事に参加(体験)する傾向
	②誰もが誰かとつながっている春日	①子どもたちが愛着を持てる春日	②誰もが誰かとつながっている春日
	委員：池亀、太田、崎田、本多、山谷、渡部 事務局：村山	委員：市川、田中、吉田(実) 事務局：鈴木	委員：折橋、瀧本、田邊、吉田(義) 事務局：渡邊
2 回目	■大人が元気だと子どもも元気になる ・ラジオ体操など親も一緒に出るような機会があればよい。 ■町内会の仕組みを変える ・役員を誰もやりたがらないのでルールを見直す。 ■情報(町内会だより)の配布 ・各種活動の情報を大きな文字にして渡すなど、分かりやすく伝える。 ・世帯、アパートの居住状況確認のため、直接会って情報を渡す。 ・情報をお知らせする機器やアプリがあればよい。 ■町内会館をもっと利用する ・安心して話せる場があると良い 現在の春日区は… ・ひとり暮らしや高齢者は情報が少ない。 ・高齢者はスマホを使いこなせない。 ・特に高齢の女性は外に出るが、男性は出たがらない。	■謙信公検定 ・上級、中級、初級に分け、子供から高齢者まで受けられる内容で作る。 ・検定の問題は、商工会や上越教育大学から協力してもらいながら、子供に考えてもらう。 ・酒や達人の称号などを受かった人への景品とする。 現在の春日区は… ・高校を出たら、都会に憧れて戻ってこない。 ・目玉となるものが必要である。 ・働く場所がなく、帰りたいが帰れない人もいる。	■みんなでご飯を食べる ・1 コイン弁当(寿会)、飲み会(岩木協力会)でコミュニケーションが生まれている ■写真を撮っておく ・目で覚える、思い出す ■忘れられない思い出をつくる ・山でウサギを捕って食べた...当時の仲間は今も大切！ ■「地元」と呼べる場所を作る ・“変わらない何か”がそこにあってほしい＝愛着 現在の春日区は… ・就労先ならリモートも可能。